

Member's Forum

会員投稿の頁



U-35委員会企画

「設計者のしごと」 —U-35世代の担当プロジェクトより— 活動報告

アートアンドアーキテクトフェスタ主催「U-35 Under35 Architects exhibition2016」の関連イベントとして、U-35 のこれまでの活動を紹介します。展示企画と、「設計者のしごと」と題したトーク企画を行いました。

U-35委員会Facebookページ

活動内容やメンバーの雑感などごっくばらんに情報をアップしています。ぜひ一度お立ち寄りください。

<https://www.facebook.com/U35.aaj>

2016年10月23日（日）に、アートアンドアーキテクトフェスタ（AAF）が主催する「U-35 Under35 Architects exhibition2016」の関連イベントとして、展示企画とトーク企画を開催した。

展示企画は、これまで私たちが行ってきたtalk baton（インプットの活動）とaction（アウトプットの活動）を通して、そこで出会ったさまざまなフィールドで活躍している人々と、活動から得られた知見をパネル展示形式で紹介した。これまでtalk batonは10回、actionは3回開催しており、継続した活動が次第に蓄積され、活動目的である若手のプラットフォームづくりが少しずつ広がっていることを実感した。

トーク企画では、「設計者のしごと」と題して、私たちU-35 委員会のメンバーのうち7名が、自身の関わったプロジェクトを紹介し、設計の実務において大切にしていることや、プロジェクトを通して考えたことをプレゼンテーションした。グランフロント大阪・うめきたシップホール（大阪市北区）の会場には、大学生をはじめたくさんの来場者があり、充実したトークが展開された。プレゼンテーションを終えると、さまざまな質疑があがった。ランダムな開口部の設け方をどのように決めているのか、サイン計画について景観的にどう考えたか、斜面地に建設する際に環境的にどのような配慮をしたか等、学生たちから鋭い質問があり、発表者は少しどきどきしつつも、難しい問題に対してどのように考え、答えを探っていたかを説明し、議論した。

今回のイベントでは来場者にアンケートの回答をお願いした。参加者の約80%が大学生・大学院生であった。また、U-35委員会の認知度は約50%で、SNS等を通じてこれからも情報発信を活発に行っていきたい。さらに、約80%の回答者がU-35委員会の活動に参加してみたいと答えており、これからのU-35委員会の活動拡大が期待できる。

来場者からは、「これまで著名な建築家の作品しか見てこなかったが、身近にあるオフィスビルや病院等にも興味が湧いた。」や、「今回のような組織設計事務所やゼネコンの仕事を紹介する機会をもっと設けてほしい。進路を考える上でも参考になる。」等の感想をいただいた。

普段、私たちは、終業後にtalk baton等のイベント企画の打ち合わせを行っており、その中でお互いの仕事を掘り下げて語り合う機会はなかなか取れなかったため、今回はメンバー同士にとっても新鮮な時間であった。また、来場者の方々と、自分の仕事を通してさまざまな意見を交わせたことは素晴らしい経験となった。

■活動紹介パネル展示2nd

2016年11月5日（土）・6日（日）に芝川ビル4階モダンテラス（大阪市中央区）で行われた、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2016（イケフェス）の「日本建築協会創立100周年記念 プレ展示会」でも同様に、U-35委員会のこれまでの活動を紹介します。2日間で1000人を超える来場者があった。来場者からは、大阪木材仲買会館（第1回action「建築と木材」の会場）に行ってみたくといった声や、日本建築協会創立100周年イベントへの期待の声が聞かれた。



プレ展示会会場でのU-35活動紹介の様子



トーク企画の様子



来場者からの質疑にトークも白熱



終了後も議論は続く